

平成 28 年度 自己点検・自己評価

学校法人東北柔専

仙台接骨医療専門学校

1. 学校の教育理念・教育目標

「自分に厳しく、人に優しく」

柔道整復師としての基本は柔道の精神にあります。本校では精神鍛錬のための五省を唱えている。

- 「東北柔専 五省」
- 1、礼儀に失する 無かりしか
 - 1、精気に欠くる 無かりしか
 - 1、信義に悖る 無かりしか
 - 1、怯懦に走る 無かりしか
 - 1、怠惰に亘る 無かりしか

五省朝夕心に留め反省すべし 自らを律するに厳なる者これを真の勇者と云う

以上を教育理念とし、それをふまえて知識、技、心を鍛え、社会に貢献できる心豊かな品格高い柔道整復師の育成に努めることを目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成 28 年度事業計画書より

- ①国家試験対策の強化（学内、学外における模擬試験の実施）
- ②学生募集活動のさらなる拡大と強化
- ③既卒国家試験受験希望者への支援の強化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界 のニーズに向けて方向付けられているか	4 ③ 2 1

① 課題

ホームページやパンフレットにて周知は出来ている。今後も引き続き周知を行う（特に在校生）。

② 今後の改善方策

在校生に対して学校の教育理念を周知し、品格ある柔道整復師の育成を目指していくことが必要である。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能されているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

ある程度の業務の効率化は図られている。今後も更なる改善を行っていく。

② 今後の改善方策

システムのマニュアル化と整備。

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や、教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

(公社)宮城県柔道整復師会の役員や、開業している接骨院の先生を交えた教育課程編成委員会を行い、実践的な職業教育、産学連携を図った。教育課程編成委員会の意見を取り入れ、希望者のみであるが接骨院での見学実習も行った。今後も引き続き続けていく。また、平成30年度からのカリキュラム改正の準備が必須。

② 今後の改善方策

平成 30 年からのカリキュラム改正に向けて、授業内容を再確認し、教育課程を編成していく。

③ 特記事項

3 年次には、(公財)柔道整復研修試験財団による認定実技審査において、外部評価者(他校審査員)を行っている。

(公社)全国柔道整復学校協会における教員研修会に参加し、教員の資質向上に努めている。

(4) 学習成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上がなされているか	④ 3 2 1
・資格習得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 ② 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

資格取得については、東北・北海道地区で No.1 はのがしたものの、高い水準を維持した。退学率は昨年とあまり変わらず、さらなる対策が必要と思われる。

② 今後の改善方策

昨年同様教職員の連携を密にし、成績不良者に対する指導を充実させ、学習意欲向上させる。

主体的に学習に臨める環境の整備

卒業生への現状アンケートの実施

学生に対するカウンセリング体制の充実

③ 特記事項

成績不良者には面談や補講を行っている。

就職ガイダンスを行い、就職先と学生の接触の機会をあたえている。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

学生支援に関しては概ね適切と思われる。

学生に対する経済支援は、日本学生支援機構の奨学金等で行っている。また、学費の分納も可能にしている。平成28年度から入学金の分納も可能にした。

② 今後の改善方策

引き続き、経済的に苦しい学生に対する支援の検討と整備
課外活動における規約の作成

③ 特記事項

就職支援は個別指導や就職ガイダンス等で行っている。

学生の相談の対応は担任や教頭がきめ細やかに行っている。

年に一度の健康診断により、学生の健康管理を行っている。

試験の結果により、三者面談を行い、保護者との連携を行っている。

平成 26 年 10 月に、柔道整復科（夜間部）が専門実践教育訓練給付金の対象講座に指定され、社会人のスキルアップの支援ができるようになった。

国家試験不合格者に対しては聴講生制度でフォローしている。また卒業者にも求人票を開示している。

（6）教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

キャンパスライフを H27 年に改定し、現状に合わせてある。

避難訓練を 9 月に行ったが、1 回のみであったので、複数回実施する必要がある。

② 今後の改善方策

様々な災害を想定し、避難訓練を行う。

③ 特記事項

平成 25 年 2 月に新校舎が完成し、施設設備の整備は問題ない。

付属接骨院での臨床実習等、教育体制は十分である。

非常食、水を約 100 名分備蓄してある。

（7）学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

学生募集活動や学納金は適正だが、近年の少子化により定員充足率は低下している。
夜間部入学者の減少が顕著である。

② 今後の改善方策

広報活動を強化し、より多くの学生に学校を知ってもらい、来校、出願につなげる。
パンフレットのリニューアルにより、学校の魅力をしっかりと伝える。
学生に選んでもらえるよう、教育活動等を向上させる。

③ 特記事項

平成 29 年度昼間部入学者はほぼ定員をみたした。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 (3) 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1

① 課題

近年の入学者の減少や中途退学者の増加により、経営基盤は若干不安定である。

② 今度の改善方策

学生募集活動の強化により、定員充足率の向上を目指す。
教育活動の強化によって中途退学者の減少を目指す。
具体的目標を定め、経費削減に務める。

③ 特記事項

昨年度より財務情報の公開を行っている。
毎年 5 月に監事や公認会計士による会計監査を行っている。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

個人情報の取り扱いは十分注意しているが、規定等の整備はされていない。

② 今後の改善方策

個人情報取扱規程の策定。

自己評価、学校関係者評価における改善事項の取り組みの強化。

③ 特記事項

平成 27 年度より、学校関係者評価委員会を設置し、ホームページ上で公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

施設を活用した地域貢献や学生のボランティア活動の奨励はほぼ適切といえる。今後も引き続き行っていく必要がある。

昨年度とほぼ同じ評価であるので、さらなる改善が必要。

② 今後の改善方策

学生ボランティアの活動状況の把握と指導を行う。

各教育機関や、関連団体、地域を連携し、可能な限り施設の活用を受け入れて社会や地域に貢献し、交流を密にしていく。

③ 特記事項

放課後に近隣の清掃等のボランティアを行い、地域に貢献している。

年に1度柔道場を開放し、宮城野区柔道協会主催の柔道教室を行っている。

(11) 国際交流

この項目においては、国際交流を行っていないため、評価対象外とする